

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①文化の秋作品展示会/縄文遺跡を発掘調査
- ②学校における働き方改革/町内学校閉庁日
- ③メディアコントロールチャレンジ/青少年センターからのお知らせ
- ④定例教育委員会/放課後児童クラブ研修会/スケート記録会/リンク利用案内/英会話教室
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

500を超える作品が会場を彩る

文化の秋作品展示会を開催

厚真町教育委員会では、11月16日(月)～23日(月)の間、厚真町総合福祉センターと厚南会館のロビーで「文化の秋作品展示会」を開催しました。

この展示会は、園児や児童生徒、町内文化団体等の日ごろの活動の成果を発表する機会を設け、文化活動の振興を図ることが目的で、町内こども園、町内小中学校、写真同好会、あつま文芸友の会、厚真油絵の会、陶芸同好会が参加しました。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、町内

の文化活動団体は、定期的な活動ができないという現状が続いており、参加団体からは、「活動回数が少なく、一つの作品を完成させるのも一苦勞ですが、このような機会があり、すごくうれしかった」という感想が聞かれました。

新しい取組でしたが、参加者にとっても、参観に訪れた方にとっても実りのある時間となったと思います。作品展示にご協力いただいた関係者の皆さん、本当にありがとうございました。



厚真町総合福祉センター会場

youtubeチャンネル「厚真こどもひろば」にて
作品展示の様子を公開中!



厚南会館会場

縄文遺跡を発掘調査 竪穴住居跡やシカ猟の落とし穴を発見!

11月16日(月)～12月3日(木)にかけて豊沢地区で農地造成に伴う縄文遺跡の発掘調査を行いました。調査の結果、約4,000年前と思われる竪穴住居跡1軒やエゾシカ猟の落とし穴14基などを発見しました。竪穴住居跡は直径約3.5mで中央に炉跡がありました。落とし穴は深さが1.9mに達するものもあり、困難を極める発掘作業となりました。近くに湧き水があり、日当たりの良い高台に暮らし、近くの山でエゾシカを捕っていた縄文人の暮らしがわかりました。毎朝、霜柱を取り除き、気温が低い中で発掘調査でしたが、想像をはるかに超える成果がありました。



エゾシカ猟の落とし穴



落とし穴(手前)と住居跡(奥)の発掘調査の様子

学校における働き方改革として行う

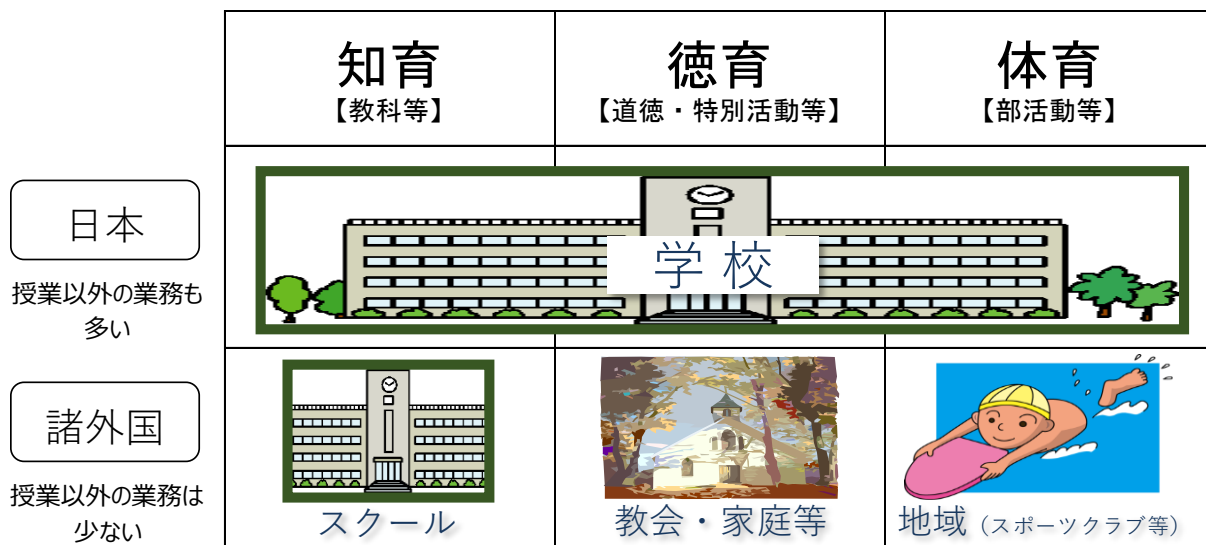
「学校閉庁日」の取組にご理解とご協力をお願いします

日本型学校教育

日本の「学校」と、諸外国の「スクール」の在り方との比較

諸外国の教員の業務が主に授業に特化しているのとは異なり、

日本の教員は、教科指導、生徒指導、部活動指導等を一体的に行っています。



■ 時間外勤務を月45時間以上行っていた者の割合（R1勤務実態調査）

月45時間 ⇒ 労働基準法上の限度時間

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
教頭	96.4%	88.9%	78.3%	100%
教諭	56.3%	73.9%	58.4%	37.7%

働き方改革を進めることで…

- 教員が日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになります。
- 教員が授業や授業準備等に集中し、健康でいきいきとやりがいを持って勤務しながら、学校教育の質を高められる環境を整備します。

※北海道教育委員会作成資料より抜粋

厚真町内の小中学校

12月28日(月)～1月4日(月)は「学校閉庁日」

【その他】

- ・ 緊急時の場合は、学校から提示される連絡先にご一報ください。
- ・ 学校開放による体育館の使用もこの期間はできません。

【問い合わせ先】 教育委員会生涯学習課 学校教育グループ (☎27-2494)

メディアコントロールチャレンジの結果について

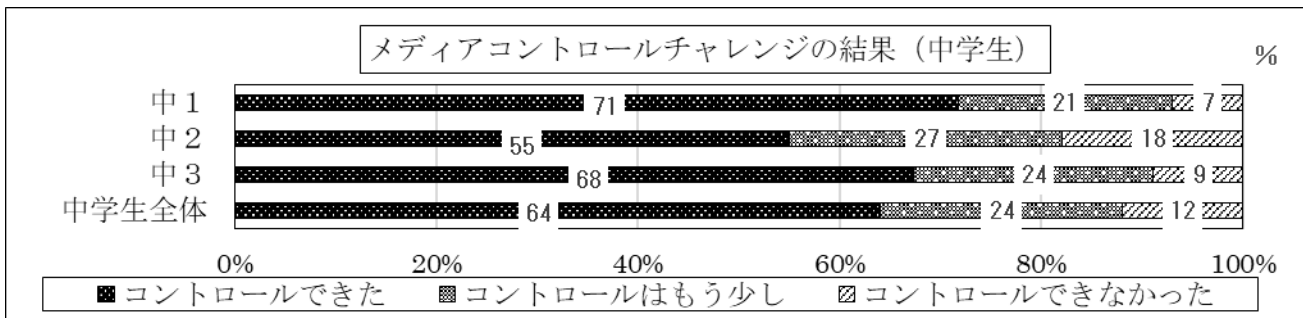
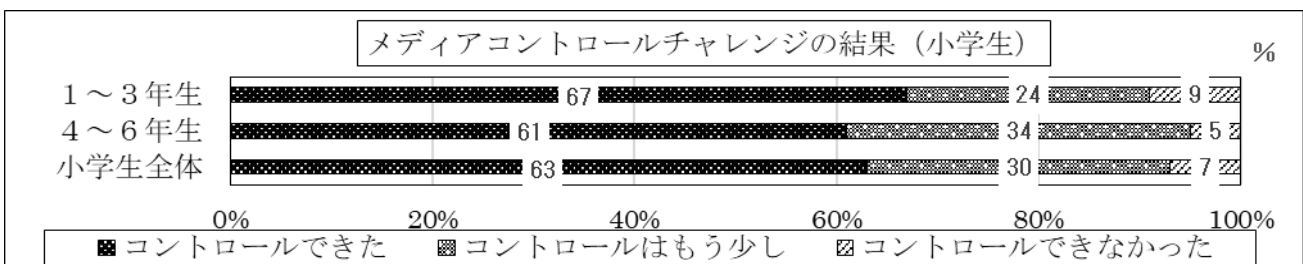
—小学生の63%、中学生の64%がコントロールできています—

厚真町アウトメディア運動の新企画として、小・中学生を対象にして（こども園はプレ実施）、メディアコントロールチャレンジを行いました。

この取組は、インターネットやゲームへの依存等を防ぐため、子どもたちが、家庭で、勉強以外の電子メディアの利用を自分でコントロールできるかどうかチャレンジする取組です。

子どもたちは、中学校の期末テストの時期に合わせ、3～4日間、テレビやビデオ、スマホ、タブレット端末、電子ゲームなどの利用時間を自主的にコントロールできるか挑戦しました。

今回初めての取組でしたが、小学生は在籍の42%、中学生は98%がメディアコントロールチャレンジに取り組みました。その結果、取り組んだ小学生の63%、中学生の64%が電子メディア利用のコントロールができていました。



青少年センターからのお知らせ

冬休み特別企画 ルーフ絵画展開催

○期間 令和2年12月26日（土）～
令和3年1月18日（月）
※祝日及び12月31日～1月5日を除く
○時間 午前9時～午後5時
○場所 2階ホール

プラネタリウム投影情報

○絵画展と同日時でプラネタリウム投影を行います。ただし、この期間の土日は予約のみとなります。（鑑賞を希望の方は、右記にご予約ください。）

青少年センター・創作館 年末年始の休館日

12月31日（木）～1月5日（火）
※1月6日（水）から全館開館

今年も大変
お世話になりました！



【問い合わせ】

厚真町教育委員会社会教育グループ
☎27-2495

11月定例教育委員会

11月25日(水)に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

議会総務文教常任委員会/学力向上推進委員会/厚真高校活性化促進事業/厚真町特別支援教育連携協議会/第3回厚真町英語教育推進委員会/厚真町心のサポート・防災学習推進協議会/学校における新型コロナウイルス対策の現状について/図書フェスティバル/就学時検診「家庭教育セミナー」/文化の秋作品展覧会の開催について/ミニバレー・ウインターリーグの中止について(ほか2件)

◆その他

教育委員と小中学校PTA役員保護者との懇談会の開催について/ふるさと教育「厚真中3年あつまプライドプロジェクト」成果発表会について

◆問合せ

教育委員会学校教育グループ ☎27-2494

厚真町スピードスケート記録会

「第41回厚真町スピードスケート記録会」を開催します。

- ◆と き 令和3年2月6日(土)
開会式 : 午前9時00分から
競技開始 : 午前9時30分から
(開会式終了後開始)
中止の場合は2月7日【日】に順延
- ◆ところ 町民スケートリンク(新町)
- ◆問合せ 教育委員会社会教育グループ
☎27-2495

ジェイク先生と学ぶ 冬季英会話教室開講

ジェイク先生を講師に、冬季(2月~3月期)の英会話教室を右記のとおり開講します。

初心者・経験者の2つのクラスで展開しているので、英語に苦手意識のある方でも気軽に楽しく始められます。

参加希望者は、事前に電話にて申し込みをお願いします。

皆様の参加をお待ちしております!

放課後児童クラブDIY研修会

12月3日(木)と10日(木)の2日間、放課後児童クラブ支援員を対象に、DIY研修会を開催しました。月に2回両クラブで子どもたちに木工指導をしている厚真町在住の永山尚貴さんを講師に招き、子どもたちが使う椅子づくりをとおして、電動工具の正しい使い方や木材の採寸など、安全な木工作業をするために必要な技術を学びました。

研修を終えた支援員からは、「ノミやノコギリの安全で正しい使い方を学べて良かった」との感想が聞かれ、今後、子どもたちが安全に木工作業を楽しむために役立つ研修となりました。



完成した椅子

町民スケートリンクの利用について

今年の町民スケートリンクの利用は次のとおりとなっています。ご利用をお待ちしています。

- ◆利用期間
令和2年12月下旬〔予定〕から
令和3年2月28日(日)まで
- ◆利用時間
午前9時00分から午後8時00分
※12月31日は午前9時~正午まで
※1月1日は休み、2日・3日は午後1時~午後4時まで
※天気や気温等により利用期間が変更になる場合もあります。
- ◆問合せ
☎27-3775(スポーツセンター)

- 日 程 令和2年2月3日から3月17日まで
毎週水曜日開催
○初心者クラス17:30~18:30
○経験者クラス18:30~19:30
- 場 所 青少年センター2階 研修室
- 対 象 英会話に興味のある中学生以上の町民
- 内 容 英会話やゲーム等を交えて、外国の文化や暮らしについて学びます。
- 申込み 教育委員会社会教育グループ
Tel 27-2495

図書室だより

青少年センター図書室
 TEL 27-2495 (平日)
 TEL 27-2321 (土日)

2020年貸出本 ベスト3

2020年は約3,600人の方に16,000冊の本の貸出の利用をしていただきました。その中で、特に貸出回数が多かった本をジャンル別にご紹介します。

≪小説部門≫

≪料理レシピ本部門≫

1位	17回	きたきた捕り物帖／宮部みゆき	1位	20回	世界一美味しい手抜きごはん ／はらぺこグリズリー
1位	17回	落日／湊かなえ	2位	12回	むね肉レシピ365日／山中順子
3位	16回	クスノキの番人／東野圭吾	3位	9回	世界一ズボラなBOXパン！ ／斎藤ゆかり

≪一般書部門≫

≪児童書・絵本部門≫

1位	13回	気がつけば、終着駅／佐藤愛子	1位	10回	おしりたんていカレーなるじけん／トル
2位	11回	これでもいいのだ／ジェーン・スー	1位	10回	ころべばいいのに／ヨシタケシンスケ
2位	11回	老人初心者の覚悟／阿川佐和子	3位	9回	おしりたんていプッキえたおべんとう ／トル

2020年、全ジャンルの中で、貸出回数が最も多かったのは、はらぺこグリズリーさんの「世界一美味しい手抜きごはん」でした。「世界一」のタイトルがもつインパクト、簡潔に書かれた文章と分かりやすい写真が読みやすく、料理が苦手な人でも『作ってみよう』という気持ちになる本でした。わたし自身も夏のきゅうりの漬物づくりの際は、とてもお世話になりました。児童書の「おしりたんてい」は絵本も人気で、アニメにもなっており、すごくおもしろいのでぜひ読んでみてください。

1月の休館日及び年末年始休館

12月31日(木)～1月5日(火)

1月11日(月) 成人の日

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
 午前9時から午後7時(火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時(月～日)
 ※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は
 休館となります。

1月の「おはなしのびっこ」は 28日(木)10時30分開始
 場所は、厚真子育て支援センターです。

☆放課後子ども教室☆

放課後の始まりを告げるチャイムが鳴り、子どもたちの足音が近づいてきます。「ただいまー！」と声がする方を振り返って、ときに驚かされるのが子どもたちの服装です。多くは冬用のジャンパーに身を包み、暖かそうな帽子や手袋などの装備と共に帰ってくるのですが、その中に『おや、今の季節は夏かしら？』と、首をかしげたくなる姿の子がちらほら見受けられます。「寒くないの？風邪を引きそうで心配だよ」と声をかけるも「全然、平気！」と遊び始める子どもたち。たくましさと言って良いものか、おうちに帰って体調を崩しはしないかと、見守る大人の責任として、内心ハラハラさせられている今日この頃です。

11月後半から12月前半にかけて、子ども教室のプログラムでは、小枝を使った工作やミニバレーなどのスポーツ、放課後ミニ実験を行いました。工作では、型抜きしたフェルトや毛糸を小枝に巻き、可愛い飾り物ができあがりしました。毛糸の組み合わせ方や配色にこだわって、色々試しながら作り上げた子の作品は、とても温かみのあるものに仕上がっていました。放課後ミニ実験では、数人でチームを組み、ビー玉やピンポン玉をコロコロ転がし、ゴールを目指すピタゴラ装置づくりに挑戦しました。子ども向けのテレビ番組や、動画サイトなどでも紹介されているピタゴラ装置。今回は、紙コップやカプラという積み木のおもちゃを使って装置をつくりました。縦半分に切った紙コップを壁に角度をつけながら、テープで貼っていきます。滑り台のように長くつなげるチームもあれば、ジグザグと縦に落ちてくる仕組みを採用するチームもありました。積み木を使ったチームは、階段をつくったり、ドミノを倒す仕組みをつくったり、特に高学年では、展開に富んだ面白い装置づくりが進められました。いくつかの仕組みを組み合わせ、長く、大きくしていくほど、ゴールにたどり着く確率は下がっていきます。試行錯誤しながら組み立てるワクワク感。角度や間隔など、細かく微調整を重ねて、無事にゴールしたときには、みんな喜びを爆発させていました。予想以上に、時間いっぱいまで子どもたちが夢中になって遊びつくしたプログラムとなりました。つくる→試す→直す→もう一度やってみる、という手を動かすことで思考も育つこうしたプログラムは、今後も取り入れていきたいと思えます。

1年の締めくくりである師走。大人にとっては気ぜわしい時期ではありますが、子どもたちにとっては、冬休みを目前に、クリスマスやお正月と楽しいイベントが待ち遠しい日々ですね。大きな事故やケガなく、良い年を迎え、充実した冬休みが送れるよう願っています。

